

平成28年度 学習定着度に関する調査結果

中学1年

平成28年12月1日 実施

国語	福岡市標準と比較して「同程度である」
数学	福岡市標準と比較して「同程度である」

中学2年

平成28年11月28日 実施

国語	福岡市標準と比較して「同程度である」
数学	福岡市標準と比較して「努力を要する」

① 上回っている ② やや上回っている ③ 同程度である ④ 努力を要する

<調査結果と分析>

1年生	分析結果
国語	○すべての領域で福岡市標準と比べて同程度である。 ○説明的文章や書くことに関して課題がある。
数学	○「数量や図形などについての知識理解」の領域はやや上回っている。 ○方程式の単元の理解に課題がある。

2年生	分析結果
国語	○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域に課題がある。 ○読むこと、漢字、文節、歴史的仮名遣い等に課題がある。
数学	○数学的な見方や考え方、数学的な技能の領域に課題がある。 ○連立方程式、資料の整理の理解に課題がある。

<本校の特徴と改善の取組>

○国語 1年生は意見を書いたり感想を書いたりして、作文を書く時間を増やしていきたい。2年生は、語彙力や読解力をつけさせるために、作文問題にを中心に取組んでいきます。

○数学 それぞれの領域、単元で復習を定期的に行っていく必要がある。また、文章問題解決力をつけていく学習を進めていきます。

学習規律を守り、授業に意欲をもち、学習に取り組むこと、家庭学習の課題に確実に取り組むことという、基本的な学習の取り組みを推進していく。調査結果については、弱点分野に意識をもたせ、今後の学習指導に生かしていきます。